

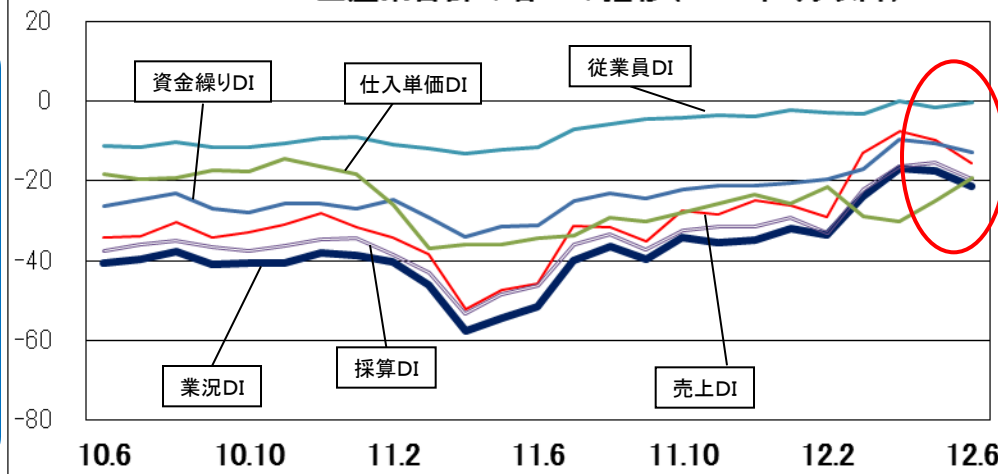


業況DIは、悪化。先行きへの不安は依然根強い

ポイント

- ▶ 6月の全産業合計の業況DIは、▲21.3と、前月から▲3.8ポイント悪化。製造業では、エコカー補助金等が下支えしているものの、超円高等を背景に海外移転や海外調達が加速していることから受注減少が著しい。また、小売・サービス業では、大手専門店（ドラッグストア・ホームセンター等）、飲食店の出店増に伴い顧客争奪が一段と激化していることが影響。なお、業況等のDIは、比較対象の前年同月（2011年6月）が、震災後、大きく低迷していた時期であることに留意が必要
- ▶ 先行きについては、先行き見通しDIが▲24.7（今月比▲3.4ポイント）と、悪化する見込み。欧州の財政金融不安に伴う海外経済の減速や、今夏の電力供給不足による事業活動への影響、住宅エコポイント制度、エコカー補助金終了による内需の反動減等の懸念から、先行きへの不安は依然根強い

LOBO全産業合計の各DIの推移(2010年6月以降)



海外展開の実施状況

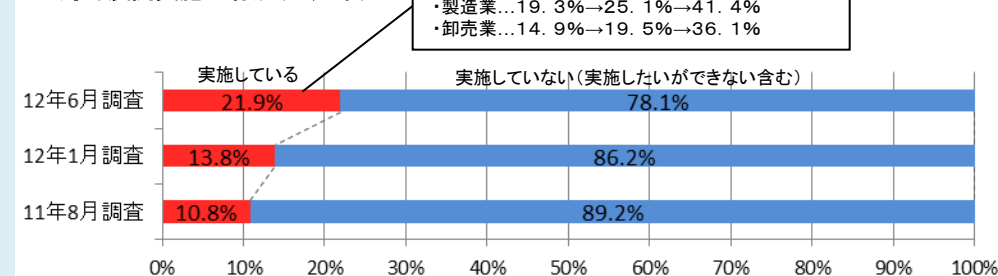
- ▶ 海外展開(※)を実施している企業は全産業で21.9%。業種別では、製造業で41.4%、卸売業で36.1%と、前回(2012年1月)調査と比較して大幅に拡大
- ▶ 海外展開を実施している企業のうち、国内における生産・販売拠点の今後の方針は、拡大または現状維持が65.9%（拡大…20.9%、現状維持…45.0%）、縮小（廃止含む）が3.2%、現時点で未定が30.9%
- ▶ また、海外展開を実施している企業のうち、国内雇用（人員体制）の今後の方針は、増員または現状維持（配置転換含む）が67.8%（増員…11.3%、現状維持（配置転換含む）…56.5%）、削減は5.4%、現時点で未定は26.8%

(※) 自社製品・商品の輸出、海外での生産・販売・物流拠点の整備・増強、生産・販売委託、調達等

[中小企業の声]

- ▶ 取引先からのコストダウン要請に対応するため、金線等の一部材料について海外調達を開始。今後、その他の材料についても拡大させる予定（富士吉田 計量・計測器製造業）
- ▶ 同業者と共同出資し、ベトナムで工場整備を進めている（碧南 陶磁器製造業）
- ▶ 取引先が生産拠点を東南アジアに移すことになったため、自社でも同地域への進出を計画している（守口門真 電気機器製造業）
- ▶ 上海に現地法人を設け、自社製品の販売を開始（福山 織物製造業）
- ▶ ミャンマーでの加工貿易を検討中（諫早 鋳物・金属材料卸売業）
- ▶ 中国での販売先を増やすため、現地の営業を強化する（高鍋 再生資源卸売業）

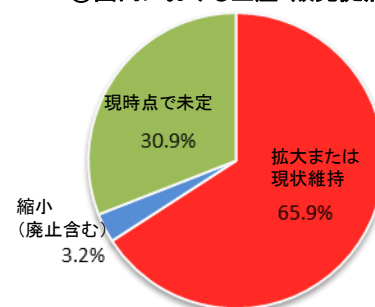
<海外展開実施の有無(全産業)>



(11年8月調査→12年1月調査→12年6月調査)  
・製造業...19.3%→25.1%→41.4%  
・卸売業...14.9%→19.5%→36.1%

<海外展開を実施している企業の今後の方針>

①国内における生産・販売拠点



②国内における雇用(人員体制)

